

【特別寄稿】最終章

ブエノス・アイレス街歩き

この街をもっと見てみよう！

林 正明

(7) パセオ・コロン浴道

パセオ・コロンは大統領府（カーサ・ロサーダ）から南へ延びる全長約 1.5 Km の比較的短い大通りですが、ブエノスアイレスの北端からリベルタドル大通り、アテム大通り、このパセオ・コロン大通り、そしてアルミランテ・ブラウン大通りを經由して南端を結ぶ幹線道路を形成しています。

この大通りで最も目立つのはインディペンデンシア大通りを横切る地点で、ブエノスアイレス大学工学部の前、小さな緑地の中に通りを遮るように据え付けられている岩石を引く大勢の人物を配した巨大な銅像群です。この国を代表する彫刻家イルルティア

(R. Yrurtia, 1879/1950)の「労働の歌」と名付けられた作品です。

工学部の建物正面は同じブエノス大学の法学部によく似た円柱が並んだ構造となっていますが、規模は小さく階段も低くて大分見劣りがするようです。実はこの建物は「エバ・ペロン財団本部」と労働総同盟（CGT）として千九百五十年代に建設が開始されましたが、ペロン大統領失脚の結果現在の様に工学部となったものです。

因みに工学部の裏側、アソパルド通りに CGT 本部があります。

インディペンデンシア大通りに並行しパセオ・コロン大通りとデフェンサ通りを結ぶ全長二百メートルに満たない、昔はドブ川だったと言われるサン・ロレンソ通りがあります。ここに間口が僅か 2.5 メーターしかなく、ブエノスで一番幅が狭いので有名なカーサ・ミニマと呼ばれている古い建物があります。

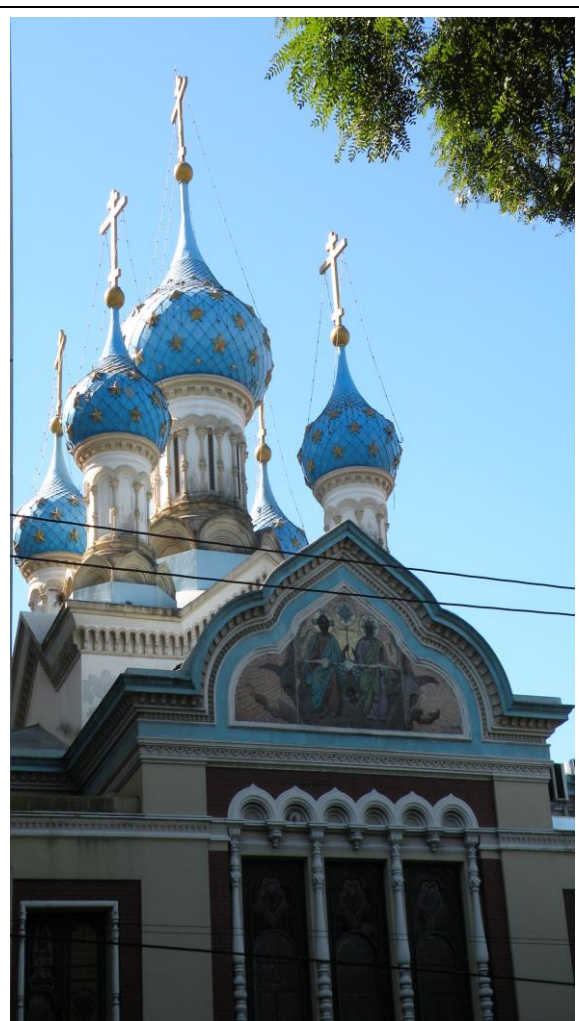
インディペンデンシア大通りを横切る際、西側のバルカルセ通りの角に有名なタンゴの店「エル・ビエホ・アルマセン」の古びた小さな建物が見えます。この古いアルマセン（雑貨店）を改造した店は千九百六十九年、渋い低音のタンゴ歌手でギターの名手エドモンド・リベロ (Edmundo Rivero, 1911~1986) が作った店で、当時サン・テルモを代表するタンゴ・ショウの店で、往時の著名なタンゴ歌手

や演奏家はこの店の舞台を踏んでいます。筆者はグラシエラ・スサナが此処でギターを弾きながら歌っていたのを覚えています。

実は、この店が出来た頃は現在のものより大分大きかったのですが、軍事政権時代、当時狭い石畳のインデペンデンシア通りを大通りに拡張する際、取壊される予定でしたが、エルネスト・サバト始め文化人や市民団体の猛反対にあい、結局建物の南側約百四十平米程が削り取られて生残りしましたが少し様変わりしました。



間口 2.50 m のカーサ・ミニマ正面



ロシア正教協会の玉ねぎ型のタワー

昔、と言っても三・四十年程前ですが、この界限に日本料理店や日本人が経営するピアノ・バーとスナック（雰囲氣的には呑屋）が有って、夜になると多くの日本人が集まっていました。

パセオ・コロンを更に南へ向かうと、一寸変わった建築様式の黒い屋根が魅力的な同じ形の建物が二棟、双子ビルのように並んでいます、これは現在農牧水産庁の庁舎となっています。

更に南へ向かいブラジル通りを越えるとパセオ・コロン大通りの南端となり、アルミランテ・ブラウン大通りと名前が変わりボーカ方面へ向かいます。

西側は典型的な河畔段丘で、下から見ると沢山の木々が美しい小高い丘の様に見えるレサーマ公園です。昔はこの公園の高台から遠くボーカやブエノス港まで見渡せましたが、今では高層マンション等が立ち並び展望を妨げています。

公園の西側の一角に、屋上に望楼が聳えているコロニアル風の古い建物が有り、これは公園名の由来となった当時の大地主レサーマ家の豪邸でしたが現在は「国立歴史博物館」となっています。



国立歴史博物館を正門より望む

ブエノスアイレス市はスペインの征服者により二度創設されました。第一回は千五百三十六年メンドーサが創設しましたが、五年後に原住民の襲撃により破壊されてしまいました。それから百九十六年後の千七百七十六年ガライにより再創設され、これが現在のブエノスアイレス市の基礎とされています。

メンドーサが最初に創設したブエノスアイレス町(村)の正確な場所は現在も不明となっていますが、このレサーマ公園付近だとする

説もあり、これに基づき公園の南西の入り口近くにブエノスアイレス市創設の記念碑が建立されています。



レサマ公園正門近くにあるブエノスアイレス市当局が選んだ「著名バー(BaresNotables)」にも含まれている ” El Hipopotamo” この店の一角で毎週「基会」が開催されている。

公園の北側、ブラジル通りを挟んで千九百一年に完成した南米最初のロシア正教の教会があります。付近に建物が多く立地条件が良くないせいでパセオ・コロン大通り側から見ると目立ちませんが公園側から見ると特徴のある青く塗られた玉ねぎの様な五つの塔が目を引きます。

(はやしまさあき：元アルゼンチン三菱商事、ブエノスアイレス在住)

注記：

本稿では便宜上以下の西文和訳を採用しています。

Avenida	大通り	Parque	公園
Calle	通り	Plaza	広場